

豊下山発第 1156 号
令和 8 年 3 月 3 0 日

下山地域会議
会長 川合 輔宏 様

豊田市長 太田 稔彦

市への提言に対する回答について

令和 8 年 1 月 9 日付けで提言のあった下記内容について、令和 8 年度以降、地域課題解決事業及びテーマ設定型わくわく事業などを通して、自治区等と連携しながら進めてまいります。

記

1 提言内容

下山地区内に広がる耕作放棄地について、自治区等が主体となって行う粗放的農地管理に対する支援や、関係人口との協働による持続的な農地管理体制の推進

2 市の回答について 別紙の通り

3 事業所管課 地域活躍部 下山支所

【問合せ】

豊田市役所 地域活躍部 下山支所 地域振興担当
電話：90-2111 FAX：90-3344
E-mail：shimoyama-shisho@city.toyota.aichi.jp

下山地域会議 分科会 1 の提言に対する市の回答

1. 省力・低コストな「粗放的農地管理」の導入

提 言 内 容	地区内の耕作放棄地について、自治区等が主体となり、省力・低コストで実施可能な粗放的農地管理を導入します。各自治区の実情に応じた方法を住民が選択・実施し、無理のない農地管理の継続を図ります。
市 の 回 答	地域課題解決事業「しもやま農地と地域を守る事業」において、自治区等による粗放的な農地管理の取組を支援するとともに、ハンマーナイフモア等の高性能草刈機の体験会を開催します。

2. 関係人口との連携による持続的な農地管理体制の構築

提 言 内 容	人口減少・高齢化による担い手不足を補うため、下山地区では関係人口の活力を積極的に活用します。粗放的農地管理は自治区や組単位での実施を基本としつつ、草刈りや植樹などの作業については、企業や教育機関、地域外の支援団体等と連携し、持続的な管理体制の構築を目指します。
市 の 回 答	自治区等を主体とした粗放的農地管理の取組が円滑かつ継続的に進むよう、関係人口による活動支援の促進を図るため、地域外の団体や関係機関とのマッチングに関する支援を行います。